

2011年12月期 第2四半期 決算説明会

2011年11月9日
JUKI株式会社

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 11/12期(11年度)上期業績

- | | |
|--------------|---|
| 1. 業績推移および配当 | 2 |
| 2. 経常利益増加要因 | 3 |
| 3. 主要財務項目推移 | 4 |
| 4. セグメント別業績 | |
| (1) 業績推移 | 5 |
| (2) 縫製機器事業 | 7 |
| (3) 産業装置事業 | 9 |

第2部 上期の主な実施事項と今後の施策

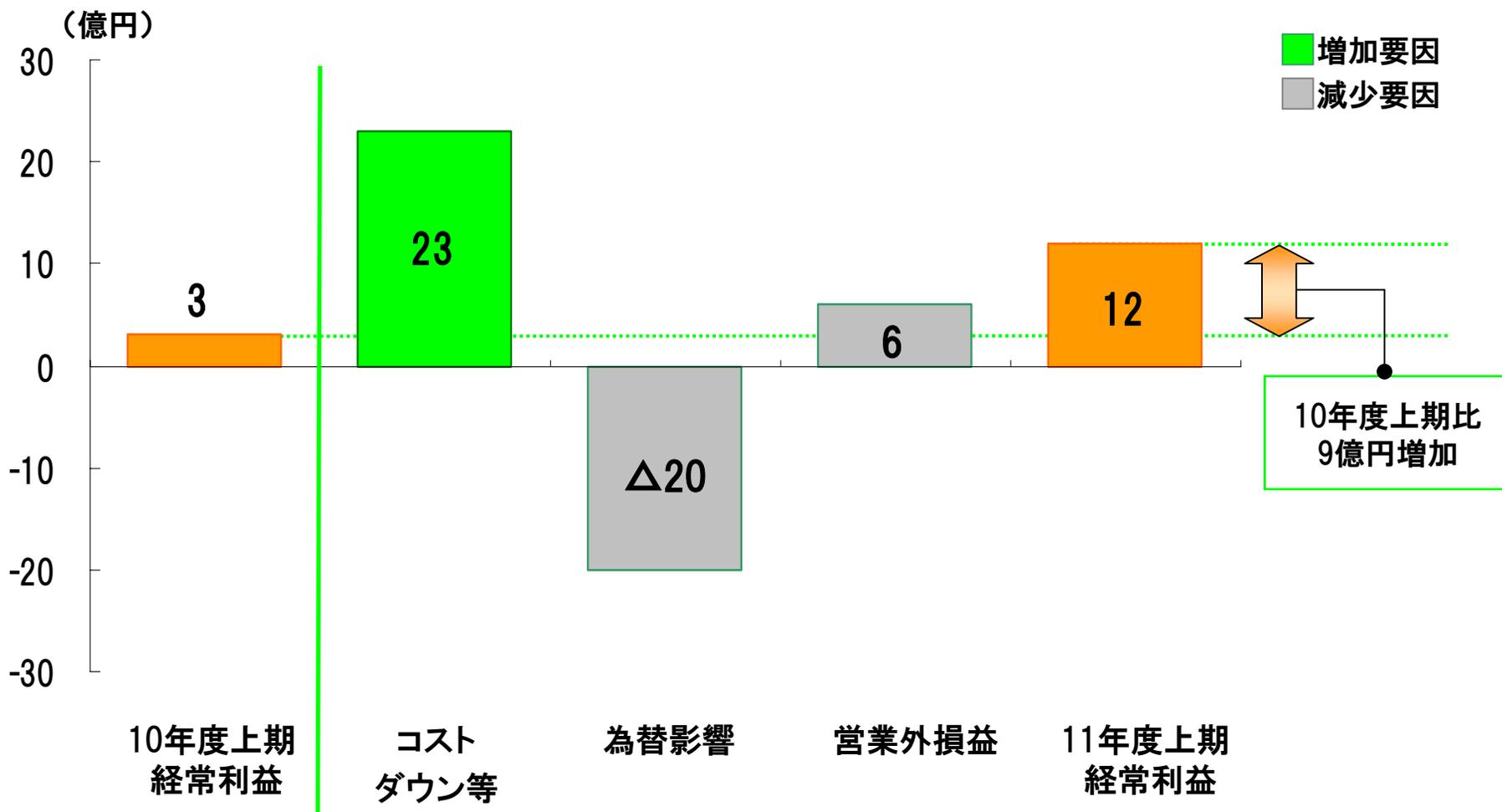
- | | |
|--------------------|----|
| 1. 上期の主な実施事項と今後の施策 | 11 |
|--------------------|----|

売上高は、円高の影響および中国市場での需要の落ち込みを、その他の地域でカバーし前年同期並みを確保。経常利益は為替差益等により増加
(百万円)

	09上期	09下期	10上期 (A)	10下期	11上期 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A/A)
売上高	24,353	32,617	43,363	46,233	43,470	107	0.2%
営業利益	△7,454	△3,733	151	634	591	440	290%
経常利益	△7,534	△3,568	278	896	1,211	933	335%
当期純利益	△7,494	△3,739	640	1,827	724	84	13.0%
配当	0円/株	0円/株	0円/株	3円/株	0円/株	±0円/株	—
※為替 レート	ドル 94円 ユーロ 132円	ドル 89円 ユーロ 127円	ドル 87円 ユーロ 112円	ドル 81円 ユーロ 111円	ドル 78円 ユーロ 112円	ドル △9円 ユーロ ±0円	

※為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

コストダウン等により23億円増加し、為替影響で20億円減少



純資産は、前期末比5億円増加し120億円

(百万円)

	09上期末	09下期末	10上期末	10下期末 (A)	11上期末 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A/A)
総資産	94,874	101,081	106,230	106,593	111,264	4,671	4.4%
在庫	31,156	29,297	33,947	36,240	40,319	4,079	11.3%
有利子負債	60,790	65,848	62,752	63,698	69,392	5,694	8.9%
純資産	15,006	10,686	10,530	11,549	12,046	※ 497	4.3%
自己資本比率	15.5%	10.3%	9.7%	10.6%	10.6%	±0	—

※ 純資産の増加額5.0億円の内訳
 〔利益剰余金10.4億円、為替換算調整
 勘定△4.1億円、その他△1.3億円〕

円高の影響および中国市場での需要の落ち込みを、縫製機器はアジアを中心に全地域でカバーし、産業装置はヨーロッパを中心にカバーした結果、前年同期並みを確保

(百万円)

	09上期	09下期	10上期 (A)	10下期	11上期 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A/A)
縫製機器*	17,005	21,511	28,155	32,112	27,964	△191	△0.7%
産業装置	3,844	8,196	11,969	10,468	11,746	△223	△1.9%
その他	3,503	2,910	3,238	3,653	3,759	521	16.1%
売上高合計	24,353	32,617	43,363	46,233	43,470	107	0.2%

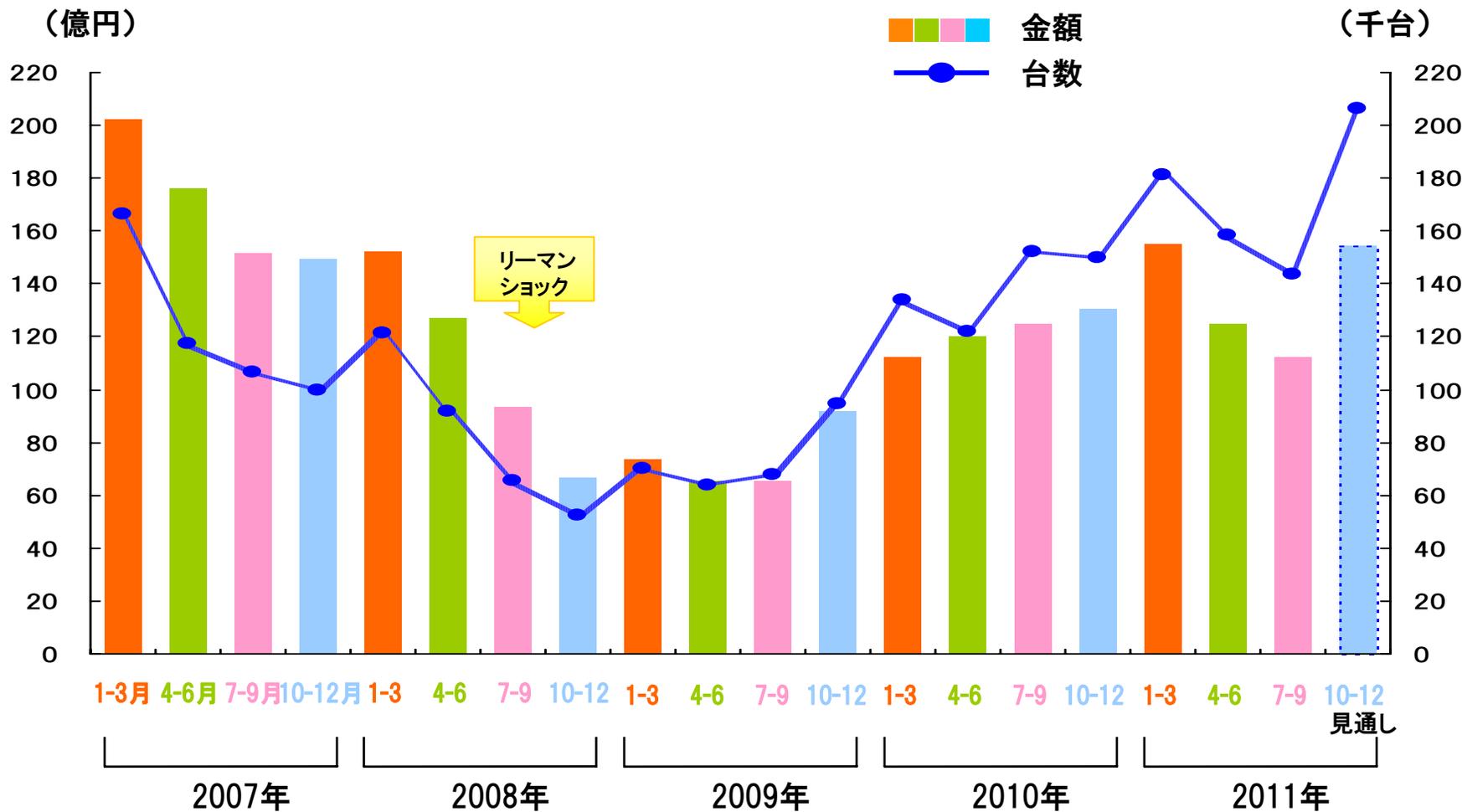
* 2011年度から工業用マシンと家庭用マシンを統合し「縫製機器」としています

縫製機器はコストダウンが寄与し増益

(百万円)

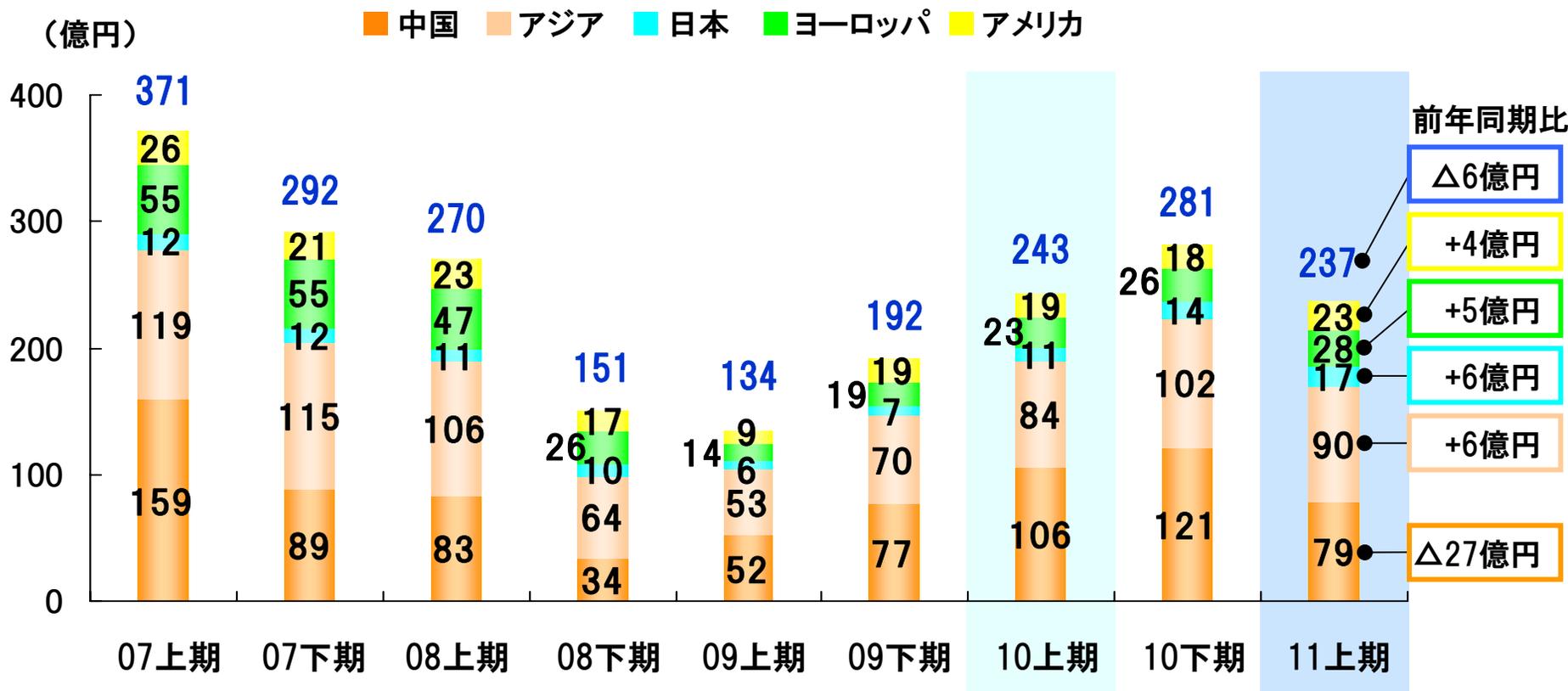
	09上期	09下期	10上期 (A)	10下期	11上期 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A/A)
縫製機器	△3,960	△1,762	644	1,044	1,451	807	125%
産業装置	△2,346	△1,157	442	309	408	△34	△7.7%
その他	△117	104	289	△230	186	△103	△35.6%
調整額	△1,109	△754	△1,098	△226	△835	263	—
経常利益合計	△7,534	△3,568	278	896	1,211	933	335%

台数はピーク(2007年)を上回る水準で推移

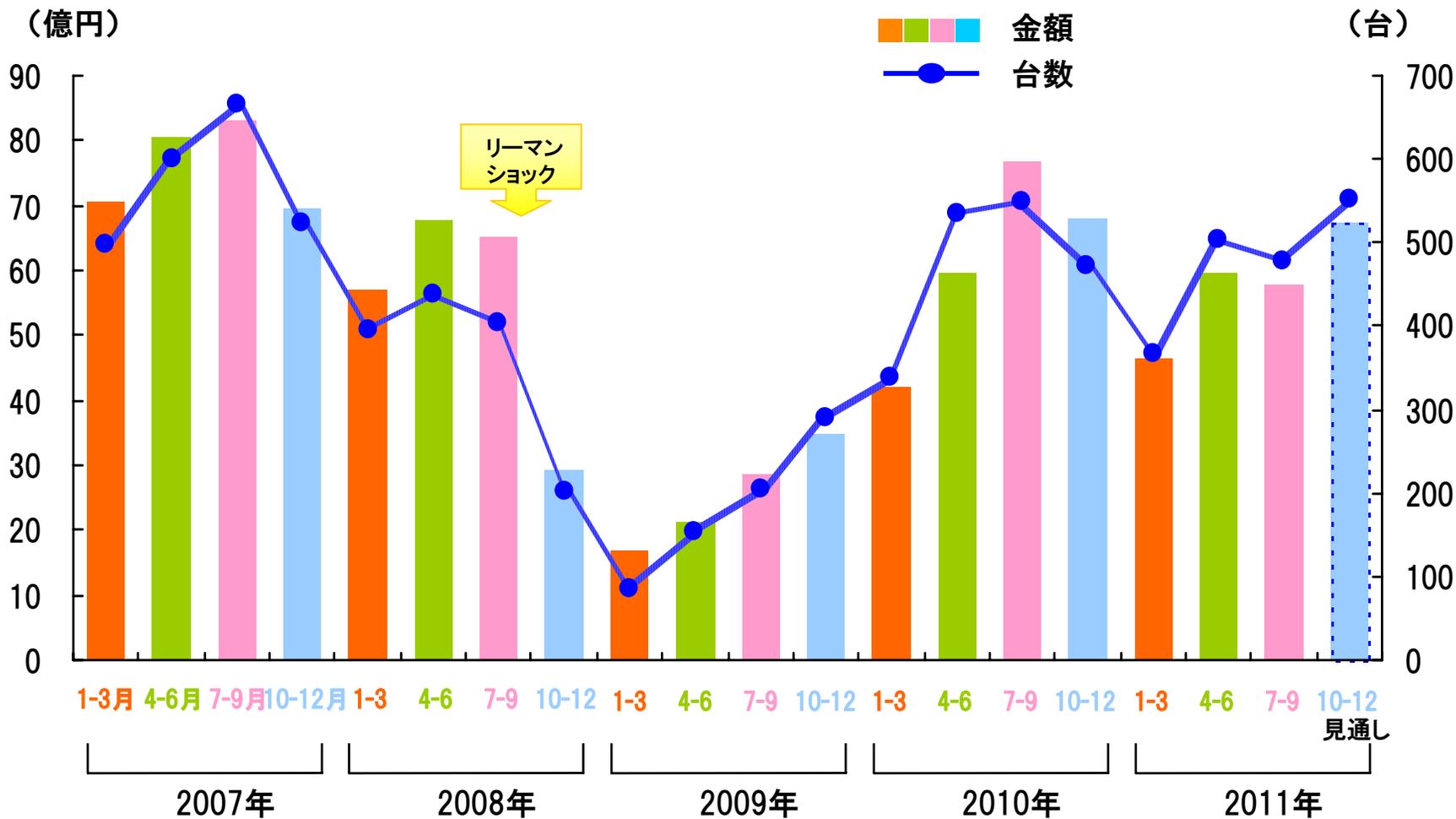


(注)国内海外の月次販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

中国は前年同期比減少したが、アジアなどその他全地域で増加

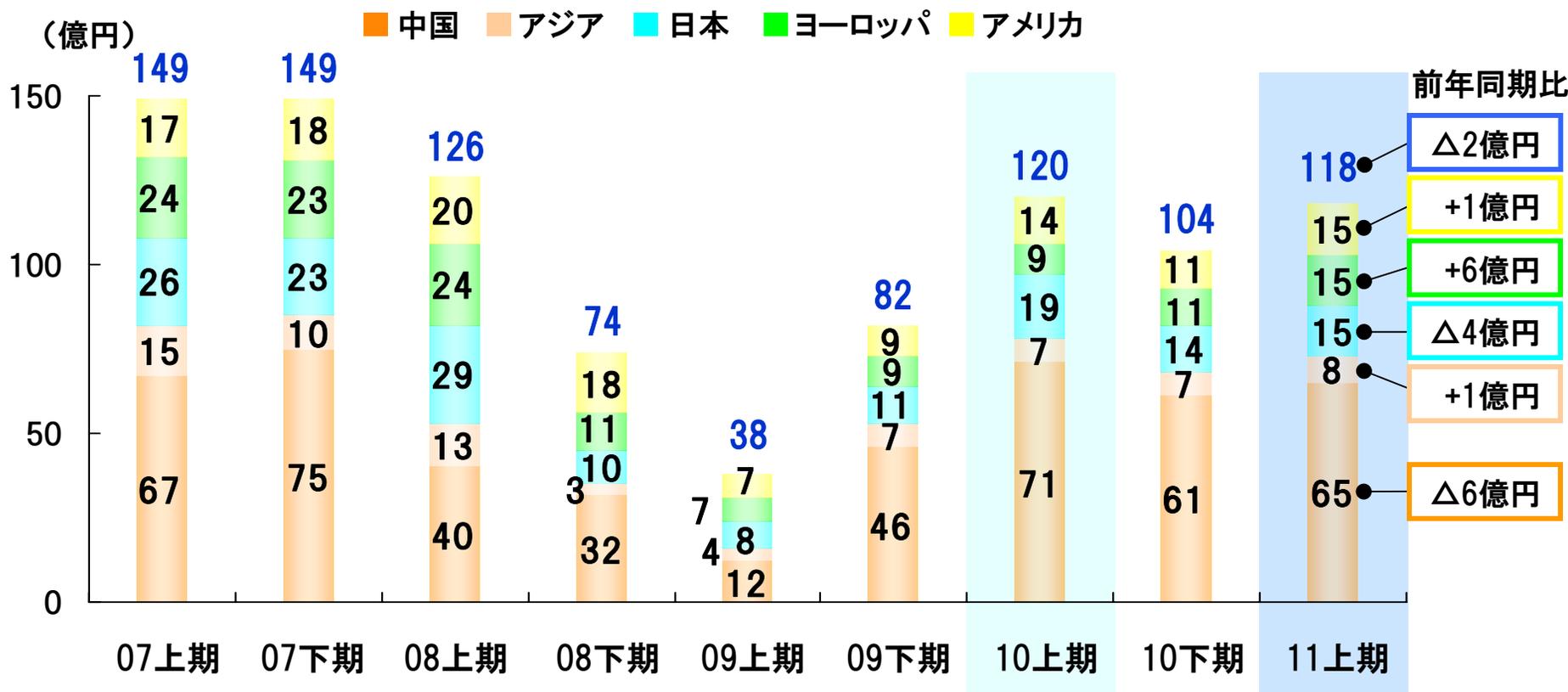


台数はリーマンショック直前(08上期)を上回る水準で推移



(注)国内海外の月次販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

中国は前年同期比減少したが、ヨーロッパを中心に欧米で増加



11年度上期の主な実施事項と今後の施策(1)

環境認識

1. 超円高(76~77円)の進行
2. 中国における金融引き締めの影響

■ 経営体制の改革

- 1 組織を機能別センター制に移行(11年4月)
- 2 決算期を統一(国内外グループ会社の決算期を12月に統一)
- 3 中国における本社機能の強化(11年10月)
- 4 本社の管理間接業務スリム化実施(11年10月から)
⇒本社人員を営業部門へ再配置

「経営体制や経営の枠組みの改革」を実施
⇒将来に向けた「経営基盤」の整備を推進

縫製機器事業

販売	工業用ミシン	1 エントリー市場での販売拡大 ①重点地域(中国、インド、インドネシア、ロシア)の攻略を推進 ⇒中国の内需市場開拓:拠点を拡充し、攻略を加速 ②DDL-8100eの販売拡大
		2 成長市場における営業体制強化 ①東南アジア(バングラデシュ、ベトナム、インドネシア) ⇒JUKIマシナリー・バングラデシュを設立(11年8月) ②南米 ⇒JUKIアメリカに南米担当副社長を任命(11年10月)
		3 アライアンスの活用 ①ニット事業の強化 ・SIRUBA社との包括提携(11年5月) ⇒SIRUBA社のOEM商品「MO-6500S」を発売(11年10月)
	家庭用ミシン	1 アライアンスを活用した家庭用ミシンの新シリーズを発売 (11年11月) 2 工業用ミシンの海外販売ネットワークを活用した販売拡大

産業装置事業**販売****1 新商品**

- ①高速機市場:高速モジュラーマウンタ「FX-3R」発売(11年5月)
- ②エントリー市場:エントリー汎用マウンタ「JX-200」を発売(11年5月)

2 拡販対策

- ①高速機市場でのシェアアップ
⇒大手顧客の開拓と新商品投入による販売拡大
- ②新興国市場の販売強化
⇒南米、インド、東南アジア等の販売強化
- ③ソリューション営業の強化
- ④サービスビジネス(保守・部品売上)の強化

アライアンス

- 1** シークス社と合弁製造会社設立契約を締結(11年9月)
⇒有力EMS企業とのアライアンスによる全体的コストダウンの推進

生産**1 生産能力の拡大(工業用マシン)**

- ①年間生産能力75万台体制を構築(11年9月)
- ②ベトナム:第4工場の本格稼動(11年5月)
⇒部品加工から組立までの一貫生産体制構築

2 コストダウンを更に加速

- ①部品調達の海外展開加速
- ②国内生産機種 of 更なる海外移管(工業用マシン)
⇒ハイエンド機の中国生産移管を推進

開発**1 開発体制の更なるグローバル化**

⇒上海、ベトナムでの開発人員増強

2 売上高に占める新製品比率

⇒中計目標40%に対し、9月で32%

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 広報・IRグループ 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>